

*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

# ContactXML次期バージョンに向けて

2003年5月28日

XMLコンソーシアムContactXML部会

江島 健太郎



# 本日の内容

---



- ContactXML仕様について
- 次期バージョンに向けて
  - ContactXML version 1.1a Errata
  - Version 1.2以降について

*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

# ContactXML仕様について

# ContactXMLとは？



- 連絡先記述に必要な情報を、標準的に扱うためのXMLボキャブラリ
  - 氏名
  - 所在地
  - 職業
  - 電話番号
  - メールアドレス
  - etc.
  
- XMLコンソーシアムContactXML部会によってメンテナンスされます
  - ContactXML仕様の利用については完全にロイヤリティーフリーです
  
- <http://www.contactxml.org/>

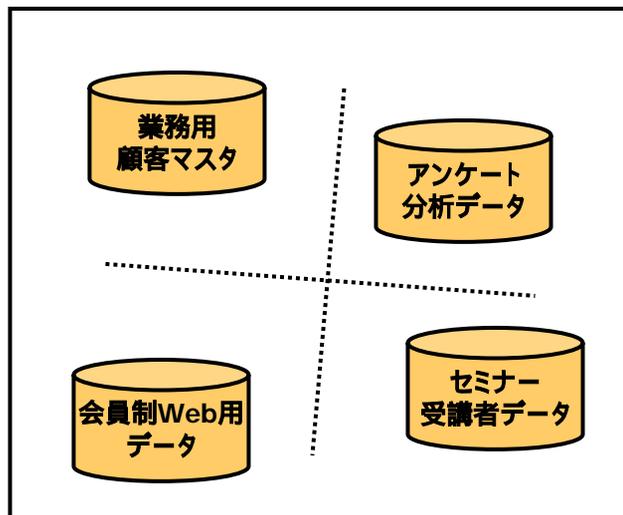
## ContactXML登場の背景

- 顧客接点の多様化
- プロジェクト単位・イベント単位にアドホックに定義され、入力される顧客データ
- 質的に均一でなく曖昧で、活用されない(できない)顧客情報

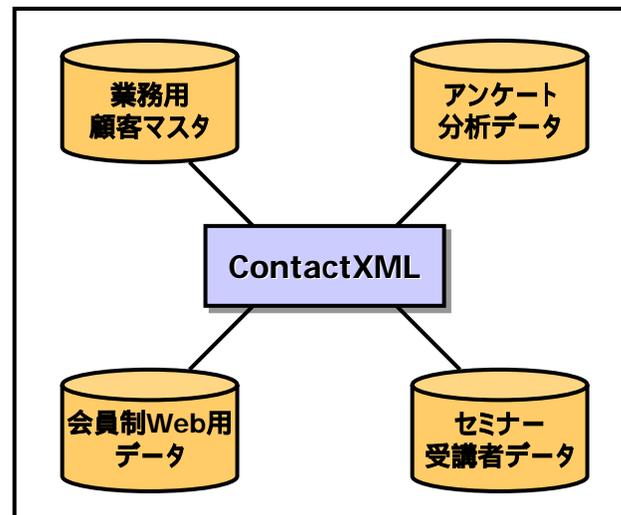


コンタクト情報の標準的な定義が必要！

バラバラに定義され入力される顧客データ



相互に交換・再利用可能な活きたデータへ



## ContactXMLの用途



- 宛名管理(年賀状)ソフトのフォーマットとして
  - 名刺データの名寄せ、一元化および共有
  - イベントやセミナーでの参加者のプロフィール収集に
  - eコマースサイトでの個人情報提供手続きの簡略化
  - 医療、保険などの申請手続きの簡略化
  - 合併・分社などにおける動的人事管理
- 
- **コンタクト情報の一元化を実現！**



# ContactXML仕様の策定ポリシー



- 20 : 80の法則を厳守
  - 難しい仕様は理解されない、使われない、普及しない
- 適度に小さい粒度のデータ分解能を提供する
  - なるべく元データの情報量を損なわずにContactXMLにマッピングできるように
  - 各種コード体系などとの整合性を考慮
- 実ビジネスの課題解決にフォーカス
  - 将来用途よりも現在用途を重視し、定番ソリューションの発掘こそを命題とする
- しっかりとした意味定義を行う
  - わかりやすい説明で、あらゆる実装者にとって誤解のない仕様を目指す
  - コード化可能な項目はコードを利用可能にし、劣化に強いデータを目指す
    - 言語・国複合コード(IETF RFC1766, xml:lang属性)
    - 国コード(ISO 3166)
    - 所在地コード(JISコード、加除コード、国土地理コードなど)



# ContactXML v1.1 サンプル



```
C:\Program Files\asteria\home\@FlowService\test\contactxml1\sample.xml - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 進む 印刷 検索 検索
アドレスバー C:\Program Files\asteria\home\@FlowService\test\contactxml1\sample.xml 移動 リンク
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<DOCTYPE ContactXML (View Source for full doctype...)>
- <ContactXML xmlns="http://www.xmlns.org/2002/ContactXML" version="1.1" creator="http://www.foo.com/bar/meishi-app/1.1">
- <ContactXMLItem>
- <PersonName>
- <PersonNameItem xml:lang="ja-JP">
  <FullName pronunciation="ヤマダ タロウ">山田 太郎</FullName>
  <FirstName pronunciation="タロウ">太郎</FirstName>
  <LastName pronunciation="ヤマダ">山田</LastName>
</PersonNameItem>
</PersonName>
- <PersonID>
  <PersonIDItem codeDomain="DrivingLicense">888001231110</PersonIDItem>
</PersonID>
- <Address>
- <AddressItem locationType="Office">
  <AddressCode codeDomain="Country">JP</AddressCode>
  <AddressCode codeDomain="ZIP7">123-4567</AddressCode>
  <AddressLine addressLineType="Country">日本</AddressLine>
  <AddressLine addressLineType="Prefecture">東京都</AddressLine>
  <AddressLine addressLineType="City">品川区</AddressLine>
  <AddressLine addressLineType="Town">大井町</AddressLine>
  <AddressLine addressLineType="Number">1-2-3</AddressLine>
  <AddressLine addressLineType="Building">NTEビル10F</AddressLine>
</AddressItem>
</Address>
- <Occupation>
- <OccupationItem xml:lang="ja-JP">
  <OrganizationName>ABCソフト株式会社</OrganizationName>
  <Department>マーケティング部プロモーション課</Department>
  <JobTitle>部長</JobTitle>
</OccupationItem>
</Occupation>
- <Phone>
  <PhoneItem phoneDevice="Phone" usage="Official">+81-3-1234-5678</PhoneItem>
  <PhoneItem phoneDevice="Cellular" usage="Private">090-8765-4321</PhoneItem>
</Phone>
- <Email>
  <EmailItem emailDevice="PC" usage="Official">aabbcc@abcd.com</EmailItem>
</Email>
- <InstantMessaging>
  <InstantMessagingItem IMDomain="ICQ">5678901234</InstantMessagingItem>
</InstantMessaging>
</ContactXMLItem>
</ContactXML>
ページが表示されました
マイコンピュータ
```

# ContactXML活用の重要なポイント



## ■ 入力時点でのクリアリング

- 入力時点で精度の低い情報は、それ以上の改善は難しい
- 従って、入力を支援する仕組み・アプリケーションに工夫が必要
- コード化の推進によって文字列と実体のマッピングを確実なものへ

## ■ プライバシー

- 個人の情報が流通してしまうというイメージの問題
- 個々人に対して割り当てるIDについて
  - ・ 住基台帳は推奨しない
- もう少し匿名性の高い識別子を利用できないか？



*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

# 次期バージョンに向けて

# ContactXMLの歴史



- 2001年12月12日にバージョン1.0をリリース
  - ビジネス・コンタクト情報として必要なデータの項目整理と意味定義に主眼を置いて開発
  - 1ファイル1個人
  
- 2002年6月にバージョン1.1ドラフト完成
  - 1ファイル複数個人への対応
  - 住所フィールドのコード体系追加
  - 個人識別用IDのフィールドを設置
  - 人名・地名の文字種の取扱についてのガイドライン
  - 意味定義のより詳細な明確化
  
- 2002年9月20日にバージョン1.1の正式リリース
  - XMLコンソーシアム初の標準化仕様として勧告

# 今後のリリースプラン



- バージョン1.1で見つかった不具合の修正版1.1aリリース
  - 2003年3月31日承認、4月公開
  
- 使いにくい・解釈の違いを生みやすい項目を削除したバージョン1.2を検討中
  - 1.1aの範疇で片付けられなかった問題を片付ける
  
- バージョン2.0?
  - リクワイアメント収集中

## その他

---

- 仕様本体とは別に「実装ガイドライン」の必要性
  - ContactXMLは、インフラに過ぎない
  - 細やかなルール付けは、各コミュニティ毎に行ってよい
  - 例えば、。
    - 宛名管理ソフトではPhoneItemの繰り返し数は3つまで
    - アドレスクレンジングの分野ではAddressLineに関する合意事項
    - など

*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

# ContactXML version 1.1 Errata

## Version 1.1aでの修正項目



1. DTDにネームスペース指定属性(xmlns)の追加
2. 住所コードから、実際には存在しないJGDC8を削除
3. 緯度・経度については世界測地系を基準とする旨の記述追加
4. FullAddressタグの利用方法に関する制限の明記
5. その他、誤字脱字の修正

基本的には、既存の実装に全く影響しないことが前提

*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

## Version 1.2以降について

## Version 1.2



- 現在、1.1での実装が一巡したことを受けて、各部会メンバーで実装を行った各社が直面した問題を解決する
- 相互運用性に問題があり、実用性に乏しいと判断された仕様については削除または簡素化
- 現在までに挙がっている要求は以下の事柄
  - preferenceの削除
    - ・「順番をヒントとしてよい」ということにする
  - xml:langをグローバルスコープで付与できるようにする
  - 緯度・経度の統合
  - AddressからCountryを削除

## Version 2.0?



### ■ Requirements

- X.509の情報を扱えるようにしたい
- ZIPなどによる圧縮の実装基準を設けたい
- 文字エンコーディングに関する規定を設けたい
- 追加 / 更新 / 削除などの差分処理をしたい
- FromやToなどのコンテキスト情報を付与したい
- 携帯端末などから簡単に扱えるデータ形式になって欲しい
- HTTPなどのプロトコルでの扱い方のガイドラインが欲しい

*Optimizing the formation,  
expansion and management  
of secure XML-enabled  
trading networks.*

---

ありがとうございました

ご質問・ご連絡はこちら：  
Office@ContactXML.org